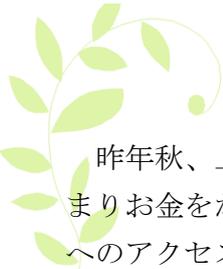


山形県母性衛生学会ニュースレター

会長挨拶

山形県母性衛生学会会長 遠藤恵子

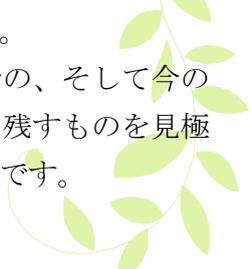


昨年秋、上野の国立博物館に行きました。特に見たいものがあつたわけではなく、あまりお金をかけずに静かにのんびりと時間をつぶすことができ、その後の予定の場所へのアクセスが良いという理由で国立博物館に行ってみました。平日の開館前に到着しましたが、当日券売り場はすでに行列、海外からの方もたくさんいました。ほとんどの人は、特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」が目的のようでした。その特別展は、開館直後にもかかわらず、すでに入場制限となっていて、静かにのんびり過ごせそうという私の期待は大きくはずれました。

特別展の仏像7軀はそれぞれ2メートル近くもあり、まずは大きさに圧倒されました。そして、どれも360度、つまり前から、後ろからも、横からもわずか数十センチの距離で見ることができるように展示されていました。ふつう、寺院にある多くの仏像は、正面からの一部の姿しか見ることができません。しかし、この特別展では、仏像の頭から足の先まで間近で見ることができます。髪の毛の先、顔の表情、指先、衣、背中、足先までの緻密な彫刻。躍動感がありながら荘厳な雰囲気と迫力。専門的な知識など全くない私でも感動し、圧倒されました。運慶は、800年以上も前に、どれだけの時間や労力をかけて作ったのでしょうか。

そしてそれ以上に心を動かされたのは、これらの仏像が作成時とほぼ同じ状態で保存されてきたということです。鎌倉時代からの長い年月、大切に保存されてきたということは、これらの仏像を保存する価値があると多くの人が強く思ったからでしょう。800年もの間には多くの災害や戦禍がありました。宗教や仏像に関する価値観の変化もあつたと思います。維持費も相当のものと推測します。これら仏像を残すべきものと見極めた人たちの思い、そして残すべき価値があるものを大切に大切に保存し続けた人たちの努力や犠牲。どれだけの人が、どれだけの労力をかけてつないできたのでしょうか。運慶の仏像そのものはもちろんですが、800年間、多くの先人たちが保存にかけてきた思いや努力は目に見えませんが、仏像をとおしてずっしりと伝わった気がしました。残すべきものを見極め、それを大事に後世につなぐ意義を考えさせられました。

私たちは、母性・子どもが健やかに生活できる社会に向け、これまでの、そして今の何を残すべきでしょうか。そのために私たちは何をすべきでしょうか。残すものを見極め、次の世代につないでいく責任を強く感じた秋の国立博物館の思い出です。



第47回学術集会開催のご報告

令和7年11月8日（土）に第47回山形県母性衛生学会学術集会を開催しました。オンラインでの開催とし、山形県内はじめ山形県外からの助産師、看護師、保健師などおよそ21名にご参加いただきました。

一般演題報告では、「多職種で行う周産期メンタルヘルス支援に関するスタッフの実態」について1題と、委託研究報告では、「子育てイベントにおけるモジュール版コペアレンティング促進プログラムの試行」の発表がありました。

特別講演では、「安全で満足できる無痛分娩の基礎知識」、「無痛分娩における助産師の役割と他職種連携」というテーマで、東北大学麻酔科佐藤久仁子先生、米沢市立病院我妻睦先生をシンポジストにお迎えし、ご講演をいただきました。多くの質問や意見があり、活発なディスカッションが展開しました。

母子保健支援者交流会のご報告

今年度も母子保健支援者交流会を開催いたしました。

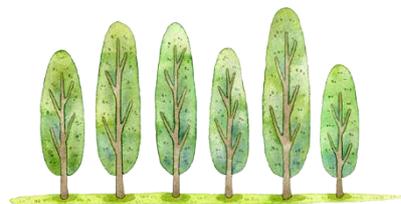
第1回は、令和7年7月26日（土）に山形県立保健医療大学において対面開催し、山形県内の施設助産師、開業助産師、保健師、看護教員、子育て支援関係者に加え、県外の助産師を含む計12名が参加しました。交流会では、産後ケアの利用状況や今後求められる産後ケアのあり方、地域ネットワークとの連携について意見交換を行うとともに、研修を受けたボランティアスタッフによる子育て支援の取り組みについて情報共有を行いました。

交流会終了後には、初めての試みとしてランチ会を実施しました。アットホームな雰囲気の中、昼食を共にしながら、交流会本編以上にリラックスした形で、それぞれの活動や実践について意見交換・交流を深めることができました。

第2回は、令和7年12月17日（水）にオンラインで開催しました。母子保健分野の医療職に加え、山形市内の父親ネットワークから、初めて男性の参加もありました。参加者が6名と少ない会になりましたが、子育て家庭に向けた情報発信の方法や、7月から開始した「共育プロジェクト」についても活発なディスカッションが行われました。

次回は、令和8年3月11日（水）18時から19時まで、オンラインでの開催を予定しております。気軽にご参加いただければ幸いです。

来年度も、対面開催とオンライン開催それぞれの利点を活かしながら、皆様の多様で意義ある活動を共有・発信する機会として交流会を継続していきたいと考えております。ぜひご参加ください。





yamagata FLAG ▶ 2025

つながろう！子育てサポーター

山形県母性衛生学会では、施設の垣根を超えたネットワークづくりを目指しています。

まわりの施設はどんな取り組みをしているのかな？
私達の支援のその先にどんな支援があるのか知りたい！

明日から取り組める支援について、みんなで語り合しましょう！

顔の見える関係ができると、仕事で悩んだ時に気軽に相談できたり、お互い高めあうきっかけがなくなっている

これまでの参加者の声

生の声で連携できる場として長いお付き合いをお願いしたい

このような交流会が回数を重ねたり、より多くの方が参加することで子育てサポートの輪が広がってほしい

2026年3月11日（水）18：00～19：00

オンライン開催 時間内は出入り自由です

参加費：無料

内 容：情報交換・交流会

**参加者：母子保健に携わる人ならだれでも！
看護職・行政職・保育関係子育て支援団体の方**



申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/frwRXNzii0>

前日までお申し込みください

お申込みされた方に URL をお送りいたします



お問い合わせ

山形県母性衛生学会事務局 023-686-6616 rhiguchi@yachts.ac.jp 担当 渡邊

山形県母性衛生学会

令和7年度第山形県母性衛生学会 総会

令和7年6月4日 16時30分～17時 オンライン会議

1. 令和6年度事業報告

1) 理事会開催

第1回理事会 5月22日 オンライン

令和5年度事業報告、会計報告、監査報告、令和6年度事業計画、予算等

第2回理事会 11月 書面応募のあった委託研究1件の審査

2) 総会 6月12日 オンライン開催

3) 学術集会 第46回 山形県母性衛生学会学術集会 令和6年11月16日 36人参加

4) 交流会 10月 第1回 対面 3月 第2回 オンライン

5) 学会誌発行ニュースレター2回発行

7月学術集会のお知らせ等 3月学術集会報告、総会報告、年会費納入等

6) 委託研究 「子育てイベントにおけるモジュール版コペアレンティング促進プログラムの試行」

山形県立保健医療大学 中村康香

7) 会員管理 一般19人、学生0人、賛助4団体

8) ウェブサイト運営 随時更新

9) 学会組織体制の強化・効率化 学会年会費振込用紙作成

2. 令和6年度会計報告・監査報告 1) 令和6年度決算 2) 会計監査

3. 令和7年度事業計画

1) 理事会

第1回 5月 令和6年度事業報告、会計報告、監査報告、令和7年度事業計画、予算 等

第2回 7月

2) 総会 6月 会員にはメールで案内し、出席予定者に URL を送付、欠席者からは委任状

3) 学術集会

第47回山形県母性衛生学会学術集会 11月8日(土) 9:30～12:30 オンライン開催
講演

「安全で満足できる無痛分娩の基礎知識(仮)」 東北大学麻酔科 佐藤久仁子先生

「無痛分娩における助産師の役割と他職種連携(仮)」 米沢市立病院助産師 我妻睦先生

※ アドバンス助産師 CLoCMiP 選択研修に該当

研究発表 一般演題、委託研究、実践報告

4) 交流会 Yamagata FLAG 3回 7月、11月、3月

5) 学会誌発行 ニュースレター 2回

6月 印刷配布 学術集会周知、演題募集、委託研究公募、年会費振込依頼、ウェブでも

3月 ウェブのみ

6) 委託研究

7) ウェブサイト運営随時更新

8) 学会組織体制の強化・効率化 会員管理 1回目のニュースレターに、振込用紙を同封

令和7年度山形県母性衛生学会役員名簿

	氏名	所属
顧問	永瀬 智	山形大学医学部産科婦人科教室教授
監事	手塚 尚広	前山形県産婦人科医会会長
監事	遠藤 美穂子	仙台青葉学院短期大学講師
会長	遠藤 恵子	山形県立保健医療大学教授
副会長	堤 誠司	山形県立中央病院総合周産期母子医療センター長
理事	鏡 明子	山形県しあわせ子育て応援部子ども成育支援課長
理事	三浦 朗子	山形県村山総合支庁保健福祉環境部子ども家庭支援課 保健支援主幹
理事	後藤 道子	公益社団法人 山形県看護協会常任理事
理事	西村 恵美子	公益社団法人 山形県栄養士会顧問
理事	高橋 佳代	山形県小・中・高等学校教育研究会養護教諭連絡協議会会長
理事	山田 富士子	一般社団法人 山形県助産師会会長
理事	藤田 愛	山形大学医学部看護学科教授
幹事 編集担当	手塚 美春	山形大学医学部看護学科助教
幹事 編集担当	鈴木 美春	山形大学医学部看護学科助教
幹事 広報担当	菊地 圭子	山形県立保健医療大学看護学科教授
幹事 庶務担当	渡邊 礼子	山形県立保健医療大学看護学科助教
幹事 会計担当	前田 のぞみ	山形県立保健医療大学看護学科助教

令和6年度 一般会計収支決算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

収入の部

(単位：円)

科目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	差異	備考
1. 年会費				
1) 一般会員	58,000	38,000	△20,000	2,000×19名
2) 学生会員	0	0	0	
3) 賛助会員	40,000	60,000	20,000	4団体
2. 学会参加費				
1) 一般	14,500	7,000	△7,500	会員500×14名
	60,000	56,000	△4,000	非会員4,000×14名
2) 学生	5,000	4,000	△1,000	学生500×8名
3. 研究委託金	70,000	70,000	0	山形県委託研究費
4. 機関誌広告料	0	0	0	
5. 雑収入	1	91	90	利息
6. 繰越金	446,455	446,455	0	令和5年度繰越金
合計	693,956	681,546(a)	△12,410	

支出の部

(単位：円)

科目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	差異	備考
1. 事務費	30,000	17,048	12,952	郵送料, 事務用品等
2. 会議費	0	0	0	
3. 学術集会運営費	80,000	55,270	24,730	講師謝金等
4. ニュースレター 発行費	55,000	63,965	△8,965	ニュースレター2回 発行1回印刷費
5. ホームページ 管理費	11,000	10,230	770	ホームページ更新費 2回
6. 研究委託金	70,660	70,165	465	山形県委託研究費
7. 人件費	10,000	0	10,000	
8. 交流集会運営費	5,000	3,240	1,760	
9. 予備費	432,296	0	432,296	
合計	693,956	219,918(b)	474,038	

(a)-(b) 461,628円は令和7年度への繰越金とする

令和7年度 一般会計収支予算書

収入の部

(単位：円)

科目	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	備考
1. 年会費			
1) 一般会員	38,000	60,000	2,000×30名
2) 学生会員	0		
3) 賛助会員	60,000	40,000	1口×4団体（山形県産婦人科医会、山形県産科婦人科学会、山形県看護協会、山形県助産師会）
2. 学会参加費			
1) 一般	7,000	15,000	会員500円×30名
	56,000	60,000	非会員4,000円×15名
2) 学生	4,000	5,000	学生500円×10名
3. 研究委託金	70,000	70,000	山形県委託研究費
4. 機関誌広告料	0	0	
5. 雑収入	91	91	利息
6. 繰越金	446,455	461,628	令和6年度繰越金
合計	681,546	711,719	

支出の部

(単位：円)

科目	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	備考
1. 事務費	17,048	30,000	郵送料, 事務用品等
2. 会議費	0	0	
3. 学術集会運営費	55,270	60,000	講師への謝金等
4. ニュースレター発行費	63,965	65,000	ニュースレター2回発行。1回の印刷費
5. ホームページ管理費用	10,230	11,000	ホームページ更新2回
6. 研究委託金	70,165	70,165	山形県委託研究費
7. 人件費	0	10,000	学会運営アルバイト
8. 交流集会運営費	3,240	5,000	交流集会3回
9. 予備費		0	
合計	219,918	251,165	

委託研究報告

子育てイベントにおけるモジュール版コペアレンティング促進プログラムの試行

○中村康香（山形県立保健医療大学）

I. 背景と目的

核家族化、晩産化が進む現代において、育児ストレスを抱える母親にとって父親のサポートは不可欠であり、男性の育児休業取得率も2022年度には17.1%と増加傾向にある。良好な夫婦関係（コペアレンティング）は親役割の受容と育児行動に好影響をもたらすことが示唆されている。我々は海外でエビデンスが確立している親教育プログラムを日本人夫婦に適した形で開発した。今回、さらに自治体や医療機関などで実施されている既存のプログラムに取り入れやすいように、1コンテンツが20分程度で構成される、モジュール型プログラムを開発することとした。本研究は実際に両親学級を実施している育児支援団体と協力し、開発した出産前教育プログラムを実施可能なプログラムに改訂し、さらに妊娠中や産後の夫婦に試行し、実現可能で効果的なプログラムかを確認することを目的とする。

II. 研究方法

2024年12月～2025年3月の間に、モジュール版プログラムに参加したものと及び開催者（アンケート回答者 n=14）を対象とした。モジュール型プログラムとして、「コペアレンティングの定義」などの5分程度の講義モジュール（4種）と、「家事育児分担」や「育児シチュエーション検討」などの20分ほどの夫婦ペアワークを含む実践モジュール（9種）から構成され、開催側の意向に沿って自由に組み合わせ可能なものを用意した。プログラム実施後、Web上の質問紙を用いて、プログラム開催概要、教材評価、クラス運営評価、属性を収集した。数値データは単純集計を行い、自由記述データは要約・分類した。

III. 結果

山形県内においては合計3つのイベントで行い、全参加者30名中14名（男性3名、女性11名）がアンケートに回答した。教材評価として、スライドデザイン、ワークシートデザインともに、回答者の100%が「とても良い」または「まあ良い」と回答し、高い評価を得た。クラス運営評価として、講義時間の長さは「ちょうどよい」または「短い」という意見であった。プログラム内容の必要性、他者への推奨度、全体満足度、育児への役立ち度、集まる機会の有益性について、全て100%の回答者が「とてもそう思う」または「まあそう思う」と回答し、本プログラムは非常に高く評価された。

その他自由記述による内容として、教材に関して「リズムがあるとよい」「コペアレンティングという言葉が難しい」といった意見が、クラス運営に関して「60分では短い（2時間程度の要望）」「夫婦で参加できる日時設定にしてほしい」といった要望が挙げられた。

IV. 考察と結論

モジュール型プログラムは、妊娠期から育児期、多胎児の親まで多岐にわたる対象者に適用可能であり、クラス時間も20分から80分と多様な構成が可能であることを示した。教材およびクラス運営評価が軒並み100%で高評価であったことから、本プログラムは、出産前教育や子育てイベントにおいて実現可能で効果的なコンテンツであることが示唆された。多様なクラス時間にもかかわらず、講義時間が「短い」という意見があったことは、本プログラムに対する関心度の高さを反映していると考えられる。

開発した「モジュール型出産前教育プログラム」は、多岐にわたる対象者への実施が可能であり、教材・クラス運営の評価も高かった。しかし、普及と効果の最大化のためには、専門用語を平易な言葉に改訂すること、効果的なリズムの提供、および夫婦が参加しやすい日時設定が今後の課題として挙げられる。

全文は山形県小児保健及び母性保健に関する委託研究事業「母性保健に関する委託研究」で閲覧可能

学会からのお知らせ

委託研究報告

これまでの委託研究の成果報告は山形県のホームページ「母性保健に関する委託研究」に掲載されています。是非ご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/010002/kenfuku/kosodate/shoni/itakukenkyuu.html>

令和7年度 年会費納入のお願い

令和7年度の理事会において、今年度は年会費を徴収することにいたしました。

何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

本会は皆様の会費で運営されております。

令和7年度会費につきまして、下記の口座番号へ会費の納入をお願いいたします。

年会費：正会員 2,000 円 学生会員 1,000 円（大学院生は正会員に含む）

学会入会方法

1. 本会への入会・継続を希望する方は、学会入会／継続申込書を山形県母性衛生学会事務局あてに郵送またはFAX(023-686-6729)するか、Eメール(yamagatakenbo@yahoo.co.jp)でお送りください。様式は学会ホームページからもダウンロードできます。
2. 入会金は不要です。年会費を下記口座にお振り込みください。

振込先

ゆうちょ銀行

口座番号：02250-2-145619

口座名称：山形県母性衛生学会（ヤマガタケンボセイエイカガクカイ）

他金融機関からお振込用口座番号

店名：二二九（ニニキュウ）店

預金種目：当座 口座番号：0145619

口座名称：山形県母性衛生学会（ヤマガタケンボセイエイカガクカイ）

発行所

山形県母性衛生学会

〒990-2212

山形市上柳 260

山形県立保健医療大学
保健医療学部看護学科

お問合せ先

山形県母性衛生学会メールアドレス yamagatakenbo@yahoo.co.jp

山形県母性衛生学会ホームページ <http://square.umin.ac.jp/yamagatabosei/>